

7

過剰債務問題の発生と処理

(コロナ後の事業再生と債権放棄)

2021.02.07¹⁴
 2021.12.13
 2021.12.06
 2021.11.15
 2021.11.08
 2021.11.04

1. コロナ前と現状と今後の懸念

(1) 保証債務の増加、売上等の急減と長期化

2020.01	20 兆円
2021.01	40
補償債務残高の増加	20

(2) 政策金融機関のコロナ政策融資

15 兆円

(3) 公的機関等の信用リスク

35~40 兆円

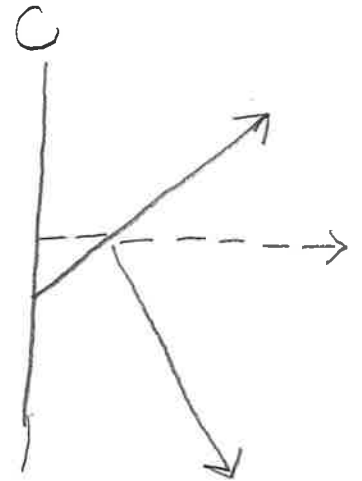
2. コロナ対応の支援策の経済合理性 (転機)

(1) 融資減少(資金不足)への緊急対応

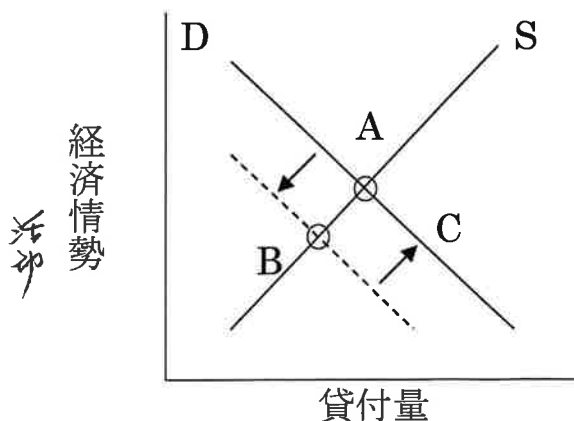
(2) 将来の設備投資の大いなる停滞と「縮む日本」

(3) 事業再生の可否(事業の強さと人の強さ)

(4) 日本財政の将来



3. 貸付市場の需給曲線



A→B 融資減少→C 緊急対応

B→C 経済合理性の欠如
過剰債務問題の発生

コロナ後に、時間をつなげるか

在庫の現金化

4. 過剰債務とバランス不況

(1) 緊急融資による企業債務の増加

(今後の事業再生と債権放棄)

(2) 事業性の高い融資の縮小

緊急対応、選択の余地なし

(3) 過剰債務問題

見えない不効率

社会の過剰在庫を言うことか

不必要な債務—過剰の削減の可否

(4) 将来の不良債権処理

↓ 不効率が残る

将来の国家的負担、事業再生、放棄

(5) 実質的な補助金としての緊急融資

融資の意義の誤り、当初から補助金で

5. 事業再生に向けた将来の課題

②

(1) 私的整理における債権放棄

必 然 (公的機関が中心)

(2) 事業再生への企業意欲と人材

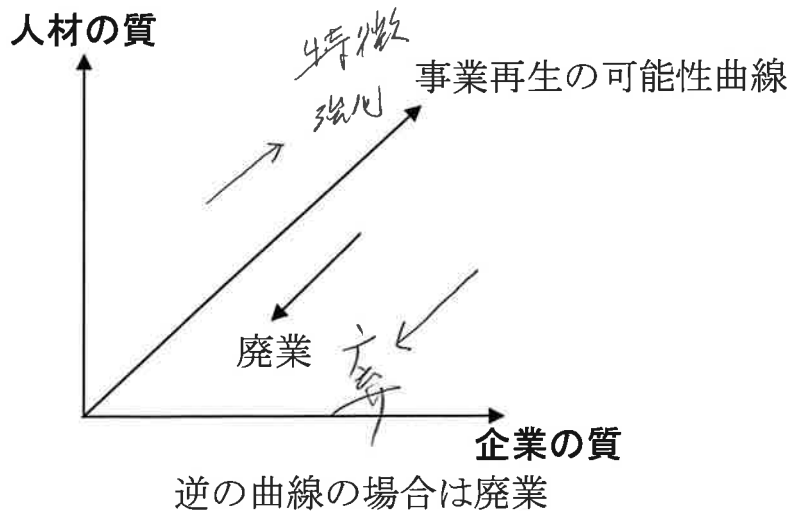
必 要 (金融機関等専門機関)

(3) 信用保証協会の求償権問題

必 至 (国家的対応の必要性)

6. 事業再生への企業の質と人材の質

過剰 — 必要を超えた



(1) 中小企業数 350 万社

(2) 廃・休業数 年 5~10 万社(2~3%)

バスの減少率、新聞購読者の減少率

企業の人材

7. ポストコロナ後の金融支援の課題

(1) 企業の質と人材の見極め

絶対必要

(2) 経営者保証の問題

避けてはならない

(3) 信用保証協会の求償権

保証の後→

(4) 税制の問題

(1)～(4)を考慮した意欲の必要性
起業家イノベーション

(5) 経営者意欲

8. 今後生じる過剰債務問題

(1) 資金繰の問題の長期化と経済

経済停滞への対応（必然）

(2) 経済回復の時期の想定的重要性

停滞を脱する方法と時の見極め

(3) 過剰融資の意義とその後

過去の経験

(4) 資金の質の問題

及び債務者の責任と意欲

9. 企業再生の質と財務再建

(1) 客観的な財務判定

客観性とは、

(2) 再生期間の見極めと再生の必要性

見極めてから再生作業

(3) 企業の社会的意義

納得と理解

10. 企業の自己変革の克服すべき障壁

(1) 見えない(可視化)

(2) 向き合えない(現実の直視)

(3) 実行できない(組織内外のしがらみ)

(4) ついてこない(現場の当事者意識)

(5) 足りない(課題解決の知見と経験)

世利債務はどのくらいか？ → 不良債権、不良在庫

社会の不良在庫融資

過剰の問題点

償却の方法
損を要す

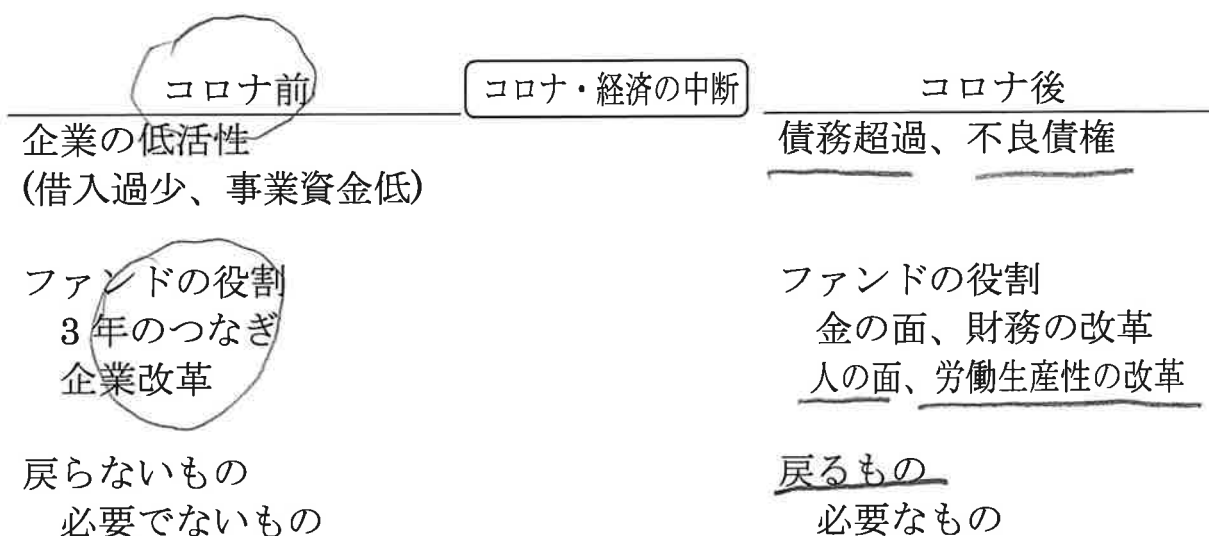
11. 政策介入の合理性

- | | |
|------------------|---------------|
| (1) 情報の非対称性 | 政治的判断の短期性、恣意性 |
| (2) 必要な融資の出来ない原因 | 明確化、借りない幸せ |
| (3) 融資側の情報と方針の欠如 | 目的の明確性、意義の明確性 |
| (4) 金融仲介機関の役割 | 必要性、必然性の見極め |

12. 信用保証制度の効果と副作用

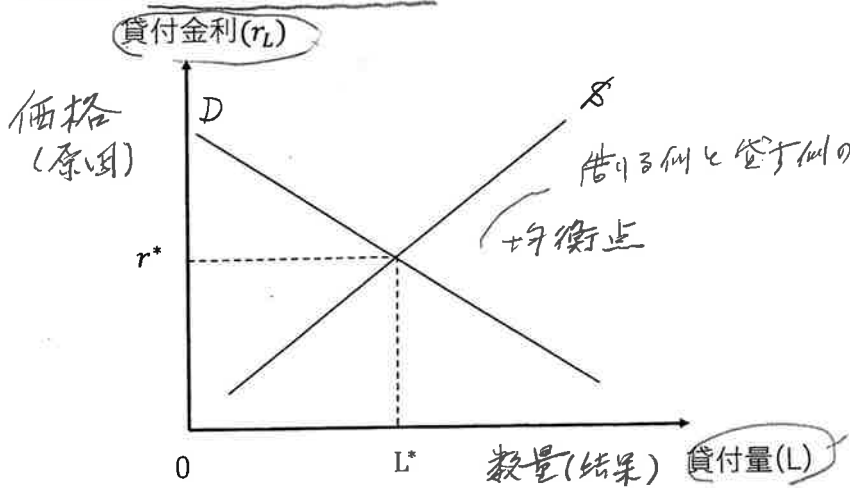
- | | |
|-----------------|-----------|
| (1) ゾンビ企業の問題 | 過去の苦い経験 |
| (2) 明確な経済的社会的意義 | 絶対に必要 |
| (3) 過去の失敗の反省 | 明確であった問題点 |

13. 貸付市場における情報の非対称と信用割当

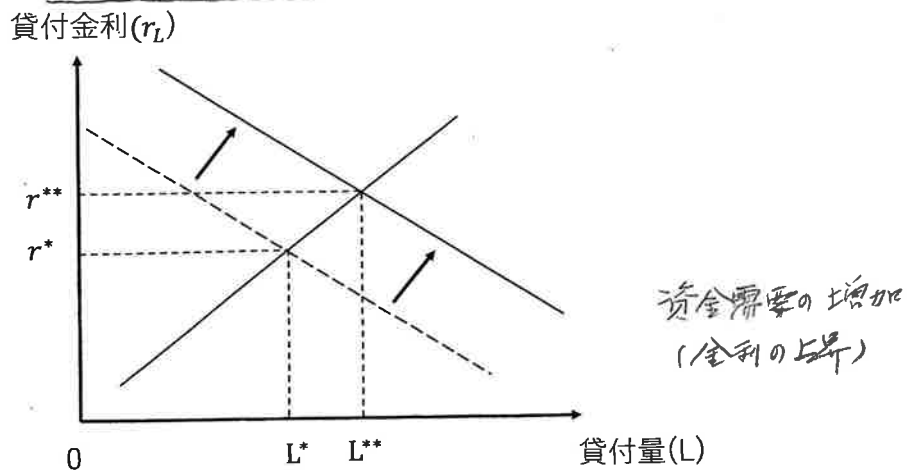


【図表 1】 貸付市場について：情報の非対称性の問題がないケース

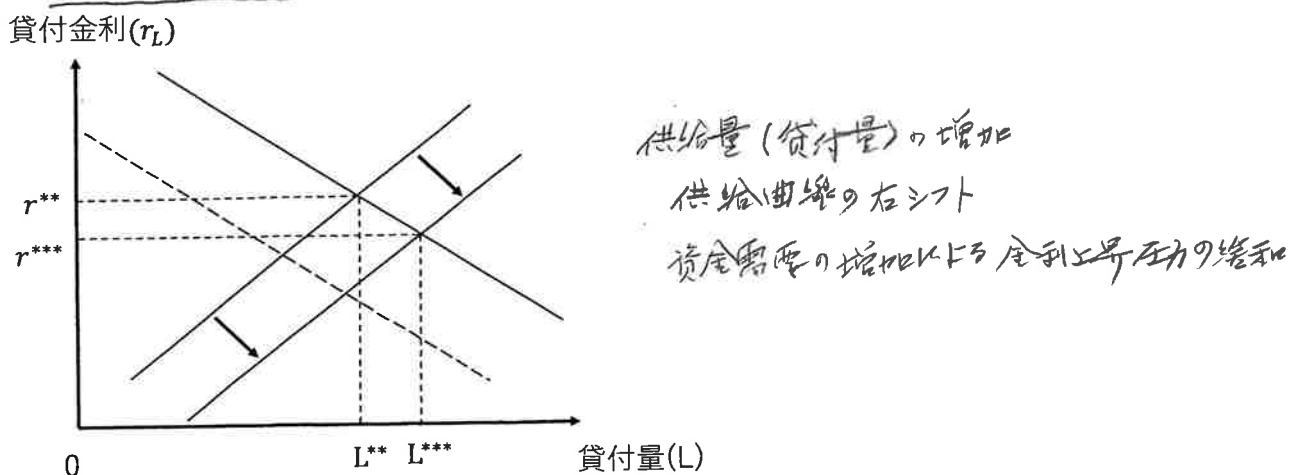
パネル A：貸付市場の市場均衡



パネル B：資金需要の増加による需要曲線の右シフト

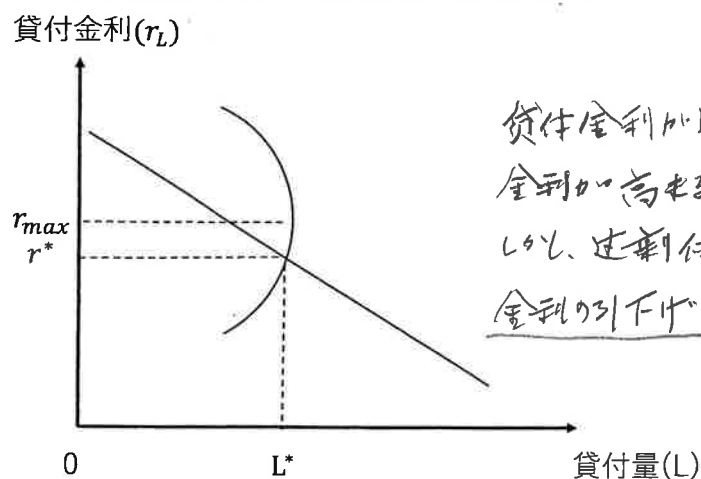


パネル C：金融緩和政策による供給曲線の右シフト



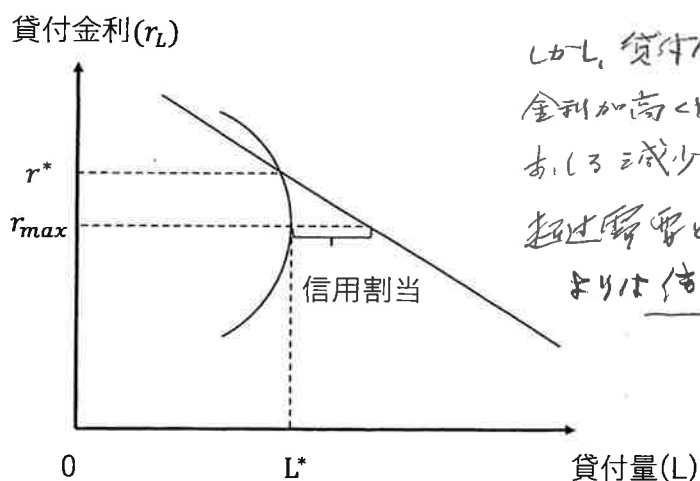
【図表2】貸付市場における情報の非対称性と信用割当の問題

パネルA：資金需要が低く、信用割当が発生しないケース



貸付金利が比較的低い領域では
金利が高くなるほど資金の供給量は増加する
しかし、過剰供給となった場合は、貸付において
金利引き下げは合理的となる（金利は低下する）

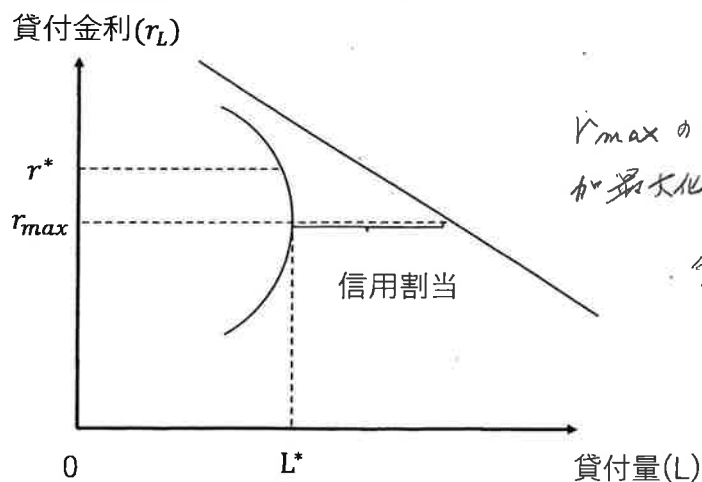
パネルB：信用割当が生じるケースその1



しかし、貸付金利が一定の水準を超える領域では、
金利が高くなるほど、信用割当が生じ、貸付の供給量が
むしろ減少する

超過需要となった場合は、貸し手にとって金利を上げる
よりは信用割当を行うことが合理的である

パネルC：信用割当が生じるケースその2



r_{max} の貸付金利水準のもとで、貸し手の期待利潤
が最大化されるので信用割当が生じる

貸付金利の水準を固定する

14. 企業再生に向けた実務的な課題

- (1) 税制によって生じるインセンティブ問題
- (2) 経営者責任の問題
- (3) 経営者の個人保証の問題
- (4) 信用保証協会の求償権の放棄の問題
- (5) 産業支援の重要性
- (6) 企業再生の必要性

15. コロナ後の復元力と反発力（バウンド力）

- (1) 世界各国の GDP 回復力
- (2) 復元力に必要なもの
- (3) 反発力に必要なもの
- (4) 財務体質の強化と方法
- (5) 労働生産性の改革（特に沖縄は）
- (6) ファンドによる事業再生（経営陣の派遣と 3 年前後）
 - ① 時間をつなぐ（資産処分の時間、劣後貸付）
借入と資本の中間の時間
 - ② 投資をしぼる（不要資産の処分、財務の明確化）
 - ③ ノンコア事業の整理（管理体制の強化、借換の実施）
 - ④ 給与体系の変更（職能給の導入、管理体制の強化）
 - ⑤ 事業の分割（余分、独立、旧経営からの分離）
 - ⑥ 財務体質（債権と担保の整理、株主構成の変革）
 - ⑦ 〃 （資産処分と旧経営陣の退職）

今後の世界

2022.02.14

1. 時代は大きく変わる状況が生まれている
2. 米、中、露は人口増加
日本は人口減少
3. 筆力の始点は、事実を事実として記述することの勇氣である
4. 人間の価値

5. 変化のきっかけ

Dr.	Cr.
卸売特価 ↑ ○ (仕 入)	債 務 ↑
人 件 費 →	売 上 ↑
従業員数 →	株 価 ↓ ◎
人 口 ↓	消費物価 → ○
付加価値 ↓	企業業績 ↓
在 庫 ↑	給 料 →
G D P ↓	外国為替 ↑ ○

6. 何をキッカケに世界は変化するか
何が始まるのか
どこから始まるのか

2022 年の経済

2022.01.19

No.	事 態(理 由)	結果予想
1.	コロナ融資 35~40 兆円 年明けの緊急事態宣言	2022 年~返済義務 公的機関の信用リスク 企業の債務超過
2.	スーパーのデジタル化の促進 コロナ特需後の消費反動減	競争の激化 縮小傾向の消費 既存店の売上低下
3.	コロナ後のコスト高 <i>卸売物価上昇</i>	企業収益の低迷、失速 本格的な生残り競争 消費者は受入れない 消費者は外食や旅行を控え、 内食需要は高止まりから低下へ 2019 までの停滞復活
4.	反動復元力の乏しい日英経済 21 年/20 年比(日英だけは、元へ戻っていない)	<i>IMF</i>

IMF 世界経済の見通し

(実質 GDP 成長率・2021 年 10 月発表)

(%)

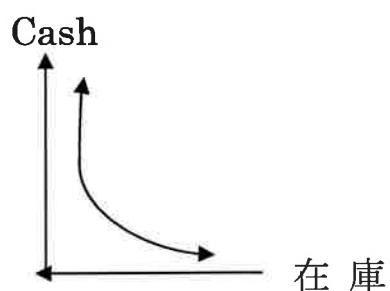
	2017年	18年	19年	20年	21 1月発表	22 4月発表	21年 7月発表	最新値
世界	3.8	3.6	2.8	▲3.1	5.5	6.0	6.0	5.9
先進国								
米国	2.3	2.9	2.3	▲3.4	5.1	6.4	7.0	6.0
ユーロ圏	2.6	1.9	1.5	▲6.3	4.2	4.4	4.6	5.0
イギリス	1.7	1.3	1.4	▲9.8	4.5	5.3	7.0	6.8
日本	1.7	0.6	0.0	▲4.6	3.1	3.3	2.8	2.4
B R I C S ・ 新 興 国								
ブラジル	1.3	1.8	1.4	▲4.1	3.6	3.7	5.3	5.2
ロシア	1.8	2.8	2.0	▲3.0	3.0	3.8	4.4	4.7
インド	6.8	6.5	4.0	▲7.3	11.5	12.5	9.5	9.5
中国	6.9	6.8	6.0	2.3	8.1	8.4	8.1	8.0
ASEAN5	5.5	5.4	4.9	▲3.4	5.2	4.9	4.3	2.9

* ASEAN5 : タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、フィリピン

▲: マイナス

△ 3.0
△ 2.2

No.	事 態(理 由)	結果予想
5.	最低賃金の上昇	人手不足の再開 レジ回りの DX 生産性改善
6.	ネットスーパー	自社とアマゾンとの協業 中小スーパーと大手との連携
7.	個人金融資産の増加 2021.4～6 現預金、株式、債券等 6.3%増 1,992 億円	消費の低迷、控え目 経済回復の低迷 消費者は値上げを受入れない →消費の減退
8.	在庫－Cash 曲線	



在庫は Cash へある

日本の経済

△可処分増えなか

① 在院日数が増える

② 薬剤使用量が増える価格 (各12の²倍)

③ 検査と検査回数が増える (各12の²倍)

④ 薬価が高くなる

(製薬会社の利益率 22.1%
他業は0%前後)

第 90 回勉強会 (2021 年 12 月 8 日)

沖縄県における事業再生と事業継承について ウィズコロナ／コロナ後の 2025 年に向けて

講 師 株式会社ジェイ・ウィル・パートナーズ

パートナー 長谷川 英司 氏

紹介者 プライム・アドバイザー・サービス合同会社

代表 佐々木 健仁 氏 (参加者 28 名)

演題の通り、「ウィズコロナとコロナ後の 2025 年に向けて」、沖縄も全国も事業の再生や復元に取組む必要がある。この時宜を得た、最も重要な課題と方向を伺うことができた。

講義は、前半の「沖縄経済の特色の把握、感想」と、後半の「ジェイ・ウィル・グループの取組事例の独自のポイント」についてであった。

会場の参加者は、講師の解り易い、新鮮な感覚にいつも以上に集中して講義を受けていた感があった。

ジェイ・ウィル・グループの紹介の後、前半は東京の投資ファンドから見た「沖縄経済の各種データについて」ということで、全国比と沖縄の労働生産性の特色などを概観された。特に興味深かったのは、(1)コロナ下における沖縄企業の復元力、全国と較べてその弾力性であった。「くしゃくしゃにした紙」が、元に戻る回復力が沖縄にはある。コロナという断層を経た企業力の要はその弾力性にあると思った。

(2)コロナ後の 2025 年における全国と沖縄の再生力と沖縄の人口増が停滞し始める時期の前の対応に関心を持った。

後半はジェイ・ウィル・グループによる再生案件と関与事例が多く語られ、具体的に示唆に富んだ内容であった。

ポイントを述べると

- (1) ファンド活用は期間限定、企業の再出発を支援
- (2) 借入と資本について、時間をつなぐという発想と技法
- (3) 再生、課題解決の鍵は、会社の現場にあるという考え方
- (4) 企業に足りない機能補完として効果的な外部人材（経営陣含む）の活用
- (5) ファンド活用により、ノンコア事業の整理可否を検討、社内の経営人材を育成
- (6) 月次決算等による現場情報のデジタル化と関係者による共有

質疑の時間は、日本銀行那覇支店長 飯島浩太氏と講師の対話的なやり取りが、沖縄経済の新しい面と今後の方向という点で有益で興味のあるものであった。



7



トヨタ生産方式

14
2022.02.07
~~2022.01.17~~

No.	内容等	備考
1.	量の関数意識からの脱却 (脱規模の生産)	発想の転換
2.	徹底したムダの排除 (1) ジャスト・イン・タイム (2) 自動化	量に勝る アメリカ式からの 脱却、超越
3.	物理的にも、財務的にも経営を圧迫する「在庫」 (1) 生産の流れを逆に見る (スーパーマーケット) (2) 組付けに必要な部品が、必要なときは、そのつど 必要なだけ、生産ラインの脇に到着している	(自動車の生産 のみにあて)
4.	自動化 (1) 異常があれば機械が止まる (自動) (2) " 人が止める (自動) (3) 異常発生—機械停止—原因の明確化 (4) 機械による生産でなくて (5) 人による生産 (6) 徹底した人の重視	

5. 利益をあげようと考えたら、

計算式

(1) 利益 = 売上高 - 原価 (×)

(2) 売上高 = 原価 - 利益 (×)

(3) 原価 = 売上高 - 利益

(4) 原価 + 利益 = 価格 (売上高) とは考えない

消費者へ最後のツケを回すのはおかしい

価格は決まっていると考え、原価の節減が利益の増加と考える効率化
(売上に影響しない)

6. ジャスト・イン・タイム

(1) 必要なものを

(2) 必要なときに

(3) 必要なだけ

原価への着目
価
格
量

7. 従来とは逆の発想

(1) 製造工程のいちばんあとの組立ラインから(生産計画)

(2) 前工程に部品を引き取りに行き

(3) 前工程は引き取られた分だけ作る

(4) 製造工程を前へ前へと逆のぼり

(5) 粗形材準備部門まで連鎖的に同期化してつながり

(6) ジャスト・イン・タイムを形成する

(7) これによって管理工数も、極度に減少させることができる

スーパーの展示商品から
逆にさかのぼる

8. 能率の向上、ムダの排除

(1) 必要なものだけ、いかに少ない人数で作り出すか

(2) 作りすぎのムダの排除

(3) 手待ちのムダ //

(4) 運搬のムダ //

(5) 加工そのもののムダ //

No.	内容等 対組合	備考
9.	つくり過ぎ、買貯めの必要の恐ろしさ アメリカ 単能工（帯組）—大型の高性能、高速の機械 日本 多能工ができる 計画的量産システム でかんしょ生産、月末追い込み生産からの脱却 初めにニーズありき 目的 成長下の企業のいちばんのニーズとは量が増えなくとも、生産性をあげること <u>企業のなかのムダは無数にあるが、つくり過ぎのムダ</u> <u>ほど恐ろしいものはない</u> ——買だめの心理	4
10.	チームワーク	
11.	カンバン	
12.	トヨタ生産方式の展開 「なぜ」を5回繰り返すことができるか (1) <u>機械が止まった</u> ① なぜ機械は止まったか？ オーバーロードでヒューズがきれた ② なぜオーバーロードがかかったか？ 軸受部の潤滑が十分でない ③ なぜ十分に潤滑しないのか？ 潤滑ポンプのくみ上げが十分でない ④ なぜ十分くみ上げないのか？ ポンプの軸が摩耗でガタガタになっている ⑤ なぜ摩耗したのか？ ストレーナ(濾過機)がついていないので切粉が付着した (2) <u>結局、ストレーナを取付けた</u> なぜの追求の仕方が足りないと、ヒューズを取替や軸の取替の段階で終わってしまう そうすると数ヶ月に同じトラブルが再発する	

No.	内容等	備考
13.	能率の向上 原価低減 必要なものだけ 個々に行われー全体的にも 現状の能力＝仕事＋ムダ 作　　業＝働き＋ムダ トヨタ生産方式では、<u>必要数だけしか</u>作ってはいけ ないのである	
14.	標準作業表 物　　—　機械　　—　人 製品 の有効な組み合わせ 自らの手で標準作業表を作る 標準作業表 目で見る管理 原則を貫く (1) サイクル・タイム　1 個、1 台を何分何秒でつくる (2) 作業順序　　　　　時間は動作の影 (3) 標準手待ち　　　　三日で一人前にする、人の和 チームワーク　　　　個人芸よりも人間グループの和	1 個流し
15.	スーパーマーケット お客は必要なものを買う スーパーマーケットを生産ラインの前工程とみる お客である後工程は、 必要なときに、必要な量だけ前工程に当たるスーパー へ買いに行く　（スーパーへ行く） 前工程は、すぐに、後工程が引き取っていった分を補 充する　（スーパーへ売れ残りを分けて） ↓ 次の工程も同じ様です	

No.	内容等	備考
16.	トヨタ式の作り方 (1) 生産現場の流れをつくる (2) 旋盤、フライス盤等をかためて置かない (3) 旋盤、フライス盤、ボール盤を一台、一台、工程順に並べて配置する <u>(4) 従来の「一台待ち」から、「多数台待ち」へ移行する</u> (5) (1)～(4)により生産性を向上させる ジャスト・イン・タイムの生産をする (6) それらを「かんばん」方式をとる運用手段として必要なものを、必要なときに、必要な量だけ手に入れる <u>(7) かんばんは品物の情報である</u> ① 引き取り情報 ② 運搬支持情報 ③ 作業指示情報	
17.	ジャスト・イン・タイム 必要なものを、必要なときに、必要な量だけ手に入れることができる、生産現場のムダ・ムラ・ムリをなくし、生産効率を向上させることができる 単なるインタイムではない、ジャスト・イン・タイムは「自働化」の思想とともにトヨタ式生産方式の二大支柱である	
18.	自動化 機械に人間の知恵を付与することである 異常が発生したら、作業をストップし、原因を考える それは、<u>自動的に、不良品の発生を防止し、つくり過ぎを抑える</u>ことである	
19.	目で見える管理 何が正常で、何が異常かを明確にする <u>不良の表面化、進捗状況、作業を目で見ることができるようにする</u> 「アンドン」は、異常の徹底管理であり、作業が止まることを恐れてはいけない	

No.	内容等	備考
20.	ジャスト・イン・タイム ジャスト・イン・タイムを実現するための管理道具 工程間の管理情報	
21.	5W1Hを5回行う 「なぜ」を5回反復して、本当の原因を明らかにする	
22.	原価主義とは (1) 原価＋利潤＝価格 このような原価主義の考え方は、最終のツケを消費者に回すようなもので、今の自動車産業は縁のないものである (2) コストダウン <u>人間の能力を十分に引き出して、働きのいを高め、設備や機械をうまく使いこなし、徹底的にムダの排除された仕事を行うというごく当たり前の経営システムが要求されている</u>	
23.	原因より真因 <u>「原因」の向こう側に「真因」がかくれている</u>	
24.	「省力化」→「省人化」→「少人化」 機械の導入は省人化を達成しなければ意味はない 真の効率化とは何かを考える	
25.	「動き」を「働き」にする ムダを認識し、撲滅する	
26.	バカヨケ 作業ミスがあれば、機械が加工を始めない仕組み	

No.	内容等	備考
27.	標準作業(表)の徹底	
28.	流れ作業と流し作業	
	各工程で付加価値がついてゆく流れ作業、コンベアを使って品物を運ぶだけでは流し作業	
29.	多工程持ち	
	(1) 多台数持ちはダメ	
	(2) ロットを小さく、段取り替えをすみやかに	
30.	生産の標準化	
	(1) <u>離れ小島を作らない</u>	
	(2) <u>製品の流れをバラつかせない</u>	
	(3) バラツキは拡大する	
	(4) バラツキゼロを目指す	
31.	ラインストップを恐れるな	
	(1) 不良品を生まないライン	
	(2) 問題があれば止められるライン	
32.	必要数＝生産量	
	生産量とは <u>市場の必要数</u> である	
	従って必要数とは売行きである	
	必要数の中では生産の改善が必要である	
33.	水面下を作らない(水面下の問題、非効率)	水面下の顕在化
34.	作業改善から設備改善へ	
35.	もうける I E	

36.

EVの出現

30万人の雇用喪失

100年に一度の自動車革命が消える転
点になる

自動車産業の雇用 542万人 $\Delta 55\%$
 12の部品メーカー 300万人 $\Delta 100\%$ — 30万人の雇用喪失

エンジン車 105点

エンジン 02点

駆動装置 $\Delta 5$

電装品 $\Delta 5$

37.

中国の格安EVが競合と日本に上陸

日本電産の永年成長

—— 2030年までに7割の価格低下 $\frac{1}{5}$ になる

No

内容等

30

EVはモータータイヤを駆動して走るため、

エンジンやそれに関係する部品が不要となり、

部品数はガソリン車の10分の1程度



6割程度減る。

△40%近く

EV化で 必要になる部品と 不要になる部品



【不要部品】▶▶▶【必要部品】

エンジン部品

約7000点

燃料噴射装置や
エアクリナー

バッテリー

駆動用モーター
に電力を供給

駆動部品

数千点

クラッチやトランス
ミッションなど

駆動用 モーター

エンジンの代わりに
タイヤを駆動

電装品

数千点

スパークプラグなど

充電器

外部の電源から
バッテリーに充電

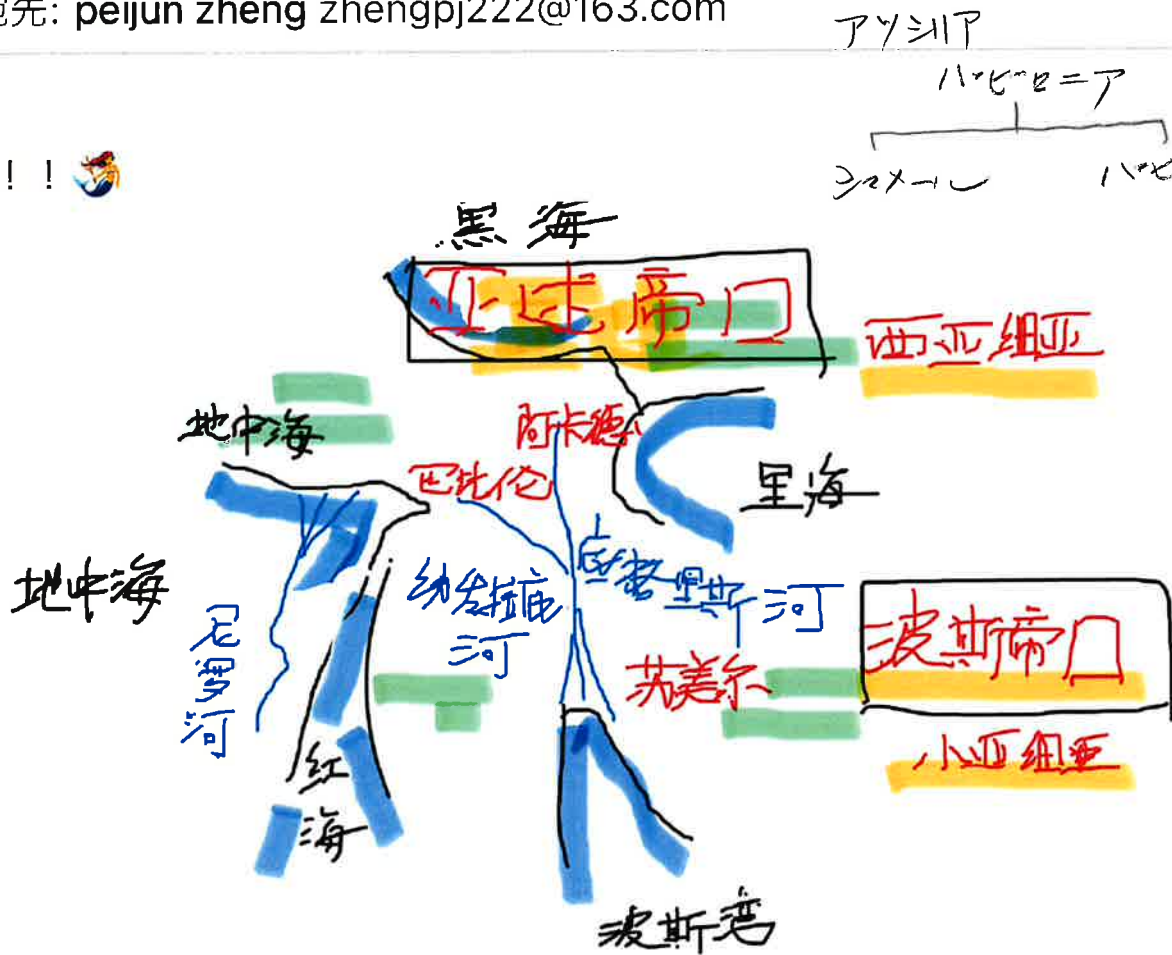
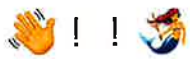
差出人: yamauchi masaki masaki_yamauchi@hotmail.com

2022.02.14

件名: 世界历史 (N07) 东方——铁器时代——亚述帝国和波斯帝国

日付: 2021/06/29 21:38:07

宛先: peijun zheng zhengpj222@163.com



东方～意思是，日出🇸🇨，从爱琴海眺望太阳上升的地方。

地理上，小亚细亚或者西亚细亚。

距今3000年前、当时的亚述可谓天时地利占尽，在国际上，它四周无强敌。

早国内，铁器的使用，不仅促进社会，经济发展，也使其拥有了锐利的武器，

为进一步扩张提供的条件。

江两河流域南部和北非这两大文明中心，置于自己的统治下，成为铁器时代的第一个大帝国。

2700年前，亚述又征服了埃及。建立起了世界历史上第一领土广大的帝国。

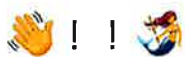
公元前612，新巴比伦王国建立，亚述帝国灭亡。

差出人: yamauchi masaki masaki_yamauchi@hotmail.com

件名: 世界历史 (N08) 《爱琴海文明》

日付: 2021/06/30 21:19:18

宛先: peijun zheng zhengpj222@163.com



直到19世纪末，人们怀疑这一文明明确存在过。

荷马史诗，“伊利亚特”和“奥德赛”中出现的英雄和诸神的故事。

德国的亨利希谢里曼发现以前，世界完全不知道。

公元3000年初叶，当来自小亚细亚或叙利亚的外来移民带着新的技术到达克里特岛时，

当地的新石器时代的村社已建立很久了。

克里特文明是，希腊文明以前存在过的地中海文明的中心。

爱琴海克里特岛的米诺斯文明是以传说中的国王米诺斯的名字命名的。

2021年6月30号

ba

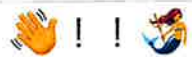
iPadから送信

差出人: yamauchi masaki masaki_yamauchi@hotmail.com

件名: 世界历史 (9) 波斯帝国 (bc550~bc330) 横跨欧, 亚, 非
三大陆

日付: 2021/07/01 20:00:09

宛先: peijun zheng zhengpj222@163.com



波斯位于伊朗高原西南部, 靠近波斯湾。到了公元前六世纪中叶, 逐渐发
展成为一个大帝国。

地域横跨欧, 亚, 非三洲。

波斯帝国兴起时, 地中海东部的国际形势这样的。

新巴比伦王国占有两河流域和剩利亚, 吕底亚控制着小亚细亚,
希腊人城邦已经在希腊半岛, 爱琴海诸岛, 艾奥尼亚地区, 逐渐兴盛起
来。

波斯帝国的建立, 在古代东方的历史上, 标志着一个新时代。

它把伊朗高原, 两河流域, 小亚细亚, 余利亚, 巴基斯坦以及埃及置于同
一的帝国下, 叙

并接近另一个文明中心——希腊。

这种大一统的局面, 促进了各地区的文化交流。

波斯帝国的统治并不长久, 公元前五世纪初, 它曾三次进攻和希腊, 结果
都遭到失败。

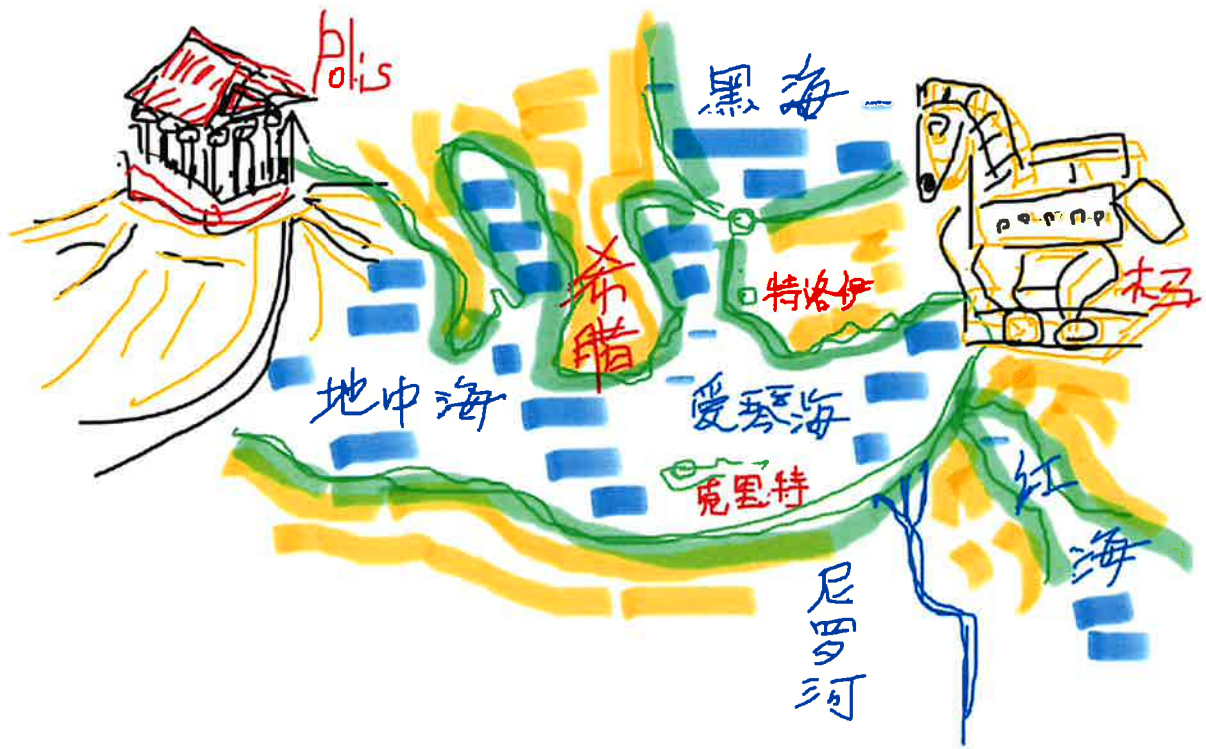
到了公元前330年, 被马其顿“亚历山大军队灭完。

2021年7月1号

ba

iPadから送信

差出人: yamauchi masaki masaki_yamauchi@hotmail.com
件名: 世界历史 (10) 《希腊文明》西方文明的源头
日付: 2021/07/02 5:07:41
宛先: peijun zheng zhengpj222@163.com



公元前700年，在希腊城邦时代，众多小国支离破碎的存在。
希腊人把这样的城邦国家叫做Polis。每一个Polis都重视自己的自由和独立。
为了保卫自由和独立，他们都建立了军队，之间经常发生战争。
其中两个最发达的Polis是“斯巴达”和“雅典”。

スハダ

“斯巴达”，公元前9世纪建立，特色是重武轻文。
“雅典”的面积仅次于斯巴达。
传说雅典是经过一位英雄的改革而建国的。

其他所有文明的束缚，结果发生了历史上的转变。改变了世界。

2021年7月11号



iPadから送信

差出人: yamauchi masaki masaki_yamauchi@hotmail.com

件名: 世界历史 (N011) 希腊化精神时代, 世界市民主义——亚历山大大帝

日付: 2021/07/02 20:56:22

宛先: peijun zheng zhengpj222@163.com



公元前336年, 古典时代结束了。希腊化文化时代即开始。

亚历山大大帝政府以后, 古典希腊文化普及整个中东, 形式一个新文明。

公元前334年, 大帝率领马其顿兵向东方的波斯人发动进攻。

大帝征服的地方建设都市, 名字叫“亚历山德”, 而把希腊人移居这里。

把兵士这里的女人结婚。这样, 希腊和东方接互一起。

西元前330年, 在“伊索斯战争”征服了整个波斯帝国。

第二年, 继续征服东进至大夏, 印度, 深入旁遮普。

只是由于士兵们拒绝再前进, 大帝不得不从印度退回巴比伦。

公元前323年, 疾病逝, 终年33岁。

大帝病逝后, 到西元前4世纪初, 形式三个王国。

一是, 马其顿王国。

公元五世纪，波斯帝国正是国是最强盛的时期。

这时，波斯为代表的古代东方世界，与希腊为代表古代西方世界，终于爆发了战争。

这希波战争以希腊的胜利告终，以后世界格局遂成东西方并立之势。

希腊的胜利使希腊各邦继续发展，雅典由此空前繁荣，成为日后西方文明的源头。

公元前470～前320年，雅典产生了三位哲学家，“苏格拉底”，“木拉图”和“亚里士多德”。

他们直至今日仍在影响着西方的思想。

同样在艺术和建筑中，雅典也创造了新的标准。

与此同时，希腊的诗人还写出了世界文学的第一批杰作，和妈的英雄诗，“伊利亚斯”和“奥德赛”。

2021年7月2号

ba

iPadから送信